

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)医学町二番町ビル		
建設地	新潟県新潟市中央区医学町通二番町11番		
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、準防火地域		
建物用途	集合住宅		
竣工年	2019年12月 竣工		
敷地面積	523.65 m ²		
建築面積	375.93 m ²		
延床面積	2,608.35 m ²		
階数	地上8F		
構造	S造		
評価の段階	実施設計段階評価		
評価の実施日	2019年2月27日		

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.2}{41.0} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 4.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

外装・内装共に防汚性の高い材料を使用しており、長期に渡って管理しやすいように配慮されている。衛生器具は節水型を採用しており、災害時に上水を有効利用することができる。また、自動水栓を用いることによって水資源を保護する取り組みが行われている。

CASBEE新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医学町二番町ビル	階数	地上8F
建設地	新潟県新潟市中央区医学町通二番町11番	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、準防火地域	平均居住人員	42人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 竣工	評価の実施日	2019年2月27日
敷地面積	524㎡	作成者	渡辺 邦夫
建築面積	376㎡	確認日	2019年2月27日
延床面積	2,608㎡	確認者	渡辺 邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	長期的に使用出来るよう、建物全体的に防汚性の高い建材を利用。地域住民とのコミュニティが密に取りやすい環境を作っている。	その他 特になし
Q1 室内環境	カーテン+バルコニーの庇があるため、グレア対策に配慮している。化学汚染物質を極力含まない建材を利用している。	Q3 室外環境(敷地内) 診療所や薬局が入るため、地域住民とのコミュニティも深めやすい環境となっている。防犯面でも高い柵等は設けず、見渡しやすい設計となっている。
LR1 エネルギー	一次エネへの配慮がきちんとされているため、省エネ対策が出来ている。	LR3 敷地外環境 駐車場は多くの人が利用できるように、タワーパーキングを取り入れている。ゴミの分別をしっかりと行えるような配慮がされている。
Q2 サービス性能	階高のゆとりがあるため、用途変更等があった場合に支障が出づら。また、空間も快適に利用できる。外装・内装共に防汚性の高い材料を使用。長期に渡って管理しやすく配慮されている。	
LR2 資源・マテリアル	解体の際に分別しやすい建材を使用しているため、再利用が出来、環境へやさしい工夫がされている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される